

## 志賀原子力発電所 1号機 残留熱除去系配管開口部からの漏えいについて

本日午後2時、北陸電力(株)より、午前10時35分頃、志賀原子力発電所1号機残留熱除去系の点検を行っていたところ、配管開口部から漏水が発生した旨連絡があった。

残留熱除去系：原子炉停止時に原子炉水を冷却する機能を持っている系統。

北陸電力では、今回の点検作業を行う際、当該配管等の水抜きは事前に行っていたとしており、原因については調査中である。  
(放射能は水中に溶け込んでおり、空中に飛散するものではない。)

漏えいした水は約240リットルで、放射エネルギーは約38万ベクレルであるが、堰構造の室内に留まっていることから、外部への漏えいはない。  
(放射能は水中に溶け込んでおり、空中に飛散するものではない。)

本件は、連絡基準 「速やかな連絡が必要なもの」に該当する。

国への報告基準 : 堰の外部へ漏れた量が3,700,000ベクレル以上  
県への連絡基準 : 堰の内外を問わず 3,700ベクレル以上

県では、志賀町とともに、本日午後5時より立入調査を実施し、現場の状況、作業管理の状況、漏水の処理方法などの確認を行う。

参考北陸電力 HP : <http://www.rikuden.co.jp/press/attach/08042501.pdf>

平成20年4月25日 原子力安全対策室 (直通)076(225)1465 (県庁内線)4234
--